

第6期「とっとりグランマ倶楽部」受講申込書

下記に必要事項を記入の上、郵送、E-mail、FAXのいずれかの方法により御提出ください。 FAX 0857-26-8107

氏名			生年月日	年	月	日
連絡先	住所					
	電話		FAX			
	携帯電話		E-mail			
講座で特に学びたいこと	※関心のあること、やってみたいことを具体的に御記入ください。					

【応募資格】 鳥取県内に在住または通勤している女性で、地域のために学びたい、役立ちたいと考えている方

【募集人員】 30名程度（応募者多数の場合は抽選とさせていただきます）

【応募締切】 平成25年6月10日（月）

【受講料】 無料

個人情報の利用目的について

以下の目的以外に利用することはありません。

1. 講座に関する連絡及び資料（受講案内、教材、アンケート等）の送付
2. 講座関連情報の御案内（パンフレット、チラシ等）
3. 受講生に関する資料の作成（名簿、出欠表、講座履修表、統計資料等）

なお、受講生の情報を本人の同意なしに第三者に開示・提供することはありません（法令等に基づき提供する場合を除く）。

会場：鳥取大学広報センター（鳥取市湖山町南4丁目101）

※無料駐車場があります。

- ・J R利用…山陰本線鳥取大学前駅下車 徒歩3分
- ・バス利用…鳥取駅バスターミナル～鳥大線「大学前」下車すぐ
湖岸線、鹿野線「鳥商前」下車 徒歩5分
- ・タクシー利用…鳥取駅から約15分

問合せ・申込先：県庁男女共同参画推進課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

TEL: 0857-26-7077 FAX: 0857-26-8107

E-mail: danjyo@pref.tottori.jp



明治大学・鳥取大学・鳥取県 連携講座

「とっとりグランマ倶楽部」 6期生募集のお知らせ



Grandmother=おばあちゃんと訳されがちですが、【Grand】本来の意味は「素晴らしい」「気品のある」「立派な」とも訳します。「素敵に輝いている」女性たちが集うコミュニティを、私たちは『とっとりグランマ倶楽部』と名付けています。



めいじろう（明治大学）



とりりん（鳥取大学）



トリビー（鳥取県）



「マンガ寺子屋」で活躍する第1期生の遠藤玉恵さん

素敵に輝く女性たちが自分たちの住む鳥取県を素敵にしようと集うコミュニティ
「とっとりグランマ倶楽部」

「とっとりグランマ倶楽部」は、明治大学が平成20年度文部科学省委託事業「社会人のための学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として、鳥取大学・鳥取県と連携し、鳥取市にも協力いただき、地域や社会に役立ちたいと考える女性の支援を目的にスタートしました。

平成21年度以降も、明治大学・鳥取大学・鳥取県が協働・連携し、鳥取の女性があらためて学び、地域で活動するための講座を開催しています。その間、この講座の修了生の中からは、NPO法人や子育て支援グループの立ち上げなど、具体的な成果、活動ももたえてきました。

第6期は、地域活動を始めたいと考えている女性から活動のアイデアを募集し、講座のテーマを「学びから始める『人がつながる場』づくり」に決定しました。

「素敵に輝く鳥取の女性が、自分たちの手で素敵な鳥取県をつくる」そのことを目指すこのプロジェクトに参画していただけるよう、心より願っております。

とっとりグランマ倶楽部実行委員会

※このプロジェクトは、平成21年3月19日に締結した「明治大学・鳥取大学・鳥取県との連携協力に関する協定書」に基づく連携事業の一つとして実施するものです。

女性による鳥取素敵化計画
「学びから始める『人がつながる場』づくり」

今年の講座のテーマは

「学びから始める『人がつながる場』づくり」です

あなたの住む地域では、「昔と比べて隣近所とのつきあいが減った」と感じたことはありませんか？

核家族化や過疎化が進み、人と人との関わりが薄れていく中、地域を元気にするために、『人がつながる場』をつくる活動を実践するための知識と方法を学ぶ講座を開催します。

また、希望者に対し、実施計画の作成、補助金申請のサポートなど、活動を実践していただくためのサポートを行います。

[受講生の皆さんに期待すること]

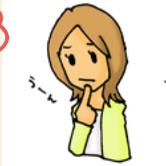
この講座を通して、

- ①地域で活動するための知識を身につける
- ②一緒に活動する仲間をつくる
- ③表現する力や聞く力などのコミュニケーション能力を身につけ、活動につなげる
- ④学んだ成果を家庭、地域、職場などで活かし、活動を実践する

[県及び大学等の支援]

県及び大学では、講座終了後も関係機関等や補助金の紹介、必要な情報の提供、助言など、受講生の皆様の活動実施に向けて、様々な形で支援します。

こんな方に
おすすめします



- ・日中、家にひとりである人が交流できる場所を作りたい
- ・地域で困っている人の話を聞いて、手助けしたい
- ・子育て中のお父さんやお母さんと、子育て経験者を結びつけて、情報交換と繋がりを作りたい

第6期とっとりグランマ倶楽部<カリキュラム>

No.	日程	時間	内容	時間	講師
		10:30~11:00	～開講式・オリエンテーション～	30分	
①	6月29日(土)	11:00~12:00	導入講義①「地域で共有する思い」の実現に向けて～つながり、協働するということ～	150分	明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 教授 源 由理子
		13:00~14:30	導入講義②ワークショップ：地域の課題を共有する		
			浜田のまちの縁側9年の歩みから ～小規模多機能な私設公民館 縁と志の交差点から 生まれる力～		
②	7月13日(土)	10:30~12:00			
③		13:00~14:30	地域がつくる福祉 ～孤立化する社会で安心して暮らし続けるために～	90分	鳥取大学地域学部 准教授 竹川 俊夫
④	7月27日(土)	10:30~12:00	発達障がいって何？ ～地域でともに暮らすために～	90分	鳥取県自閉症協会 ペアレントメンター鳥取
⑤		13:00~14:30	人をいやし、また傷つけるコミュニケーションの不思議 ～カウンセリングや心理療法から学ぶ～	90分	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授 菊池 義人
⑥	8月10日(土)	10:30~12:00	一緒に活動する仲間をつくる～NPO入門～	90分	明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 教授 長畑 誠
⑦		13:00~14:30	生涯を自分らしく地域で暮らす	90分	鳥取大学医学部 教授 松浦 治代
⑧	8月31日(土)	10:00~11:30	振り返り：改めて『人がつながる場づくり』を考える	90分	明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 教授 源 由理子
		11:30~12:00	～修了式～	30分	

①⑧源 由理子
(みなもと ゆりこ)
【明治大学専門職大学院
ガバナンス研究科 教授】



地域政策と協働、政策評価と地域の価値形成などの課題に取り組んでいます。地域社会の活力が新たな公共性を生み出す原動力となるかもしれないとの思いが、研究の原動力です。東京工業大学博士後期課程修了。博士(学術)。明治大学地域連携推進センター副センター長。

②栗栖 真理
(くりす まり)
【浜田のまちの縁側 代表】



東京で生まれ育ち、結婚を機に山陰へ。ケアマネージャー等地域ケアに従事してきたが、地域力を育む活動や、地域に開かれた住まい方を模索。2004年、自宅の一部を開放して「浜田のまちの縁側」を開設。主な活動は、子ども支援、食を通じた交流、社会教育。

③竹川 俊夫
(たけがわ としお)
【鳥取大学地域学部 准教授】



博士(社会福祉学)。専門は地域福祉論、社会福祉政策論。2008年10月より現職。鳥取県の各地で地域福祉(活動)計画の策定や住民福祉活動の活性化をサポートしながら、地域に最適なオンリーワンの福祉をいかにデザインするかを研究・実践しています。

④鳥取県自閉症協会 ペアレントメンター鳥取

『ペアレントメンター』とは、自閉症や発達障がいのある子どもを育てた経験を活かして、他の保護者からの相談に対応できるように研修を修了した保護者をいいます。ペアレントメンター鳥取では、発達障がいを理解していただくきっかけづくりとして、複数のペアレントメンターによるキャラバン公演を行い、パワーポイントや寸劇を交えながら、発達障がいの説明・疑似体験・子育て体験談・関わり方のコツなどを紹介しています。



講師紹介

⑤菊池 義人
(きくち よしと)
【鳥取大学大学院医学系研究科 教授】



臨床心理士として精神科病院、中学校などで勤務してきました。現在も、医学系研究科の臨床心理相談センターで、いろいろな問題で悩んでいる方々の心理相談(カウンセリング、各種心理療法)に携わっています。そうした経験から、人をいやし、傷つけてしまうコミュニケーションの不思議を考えます。

⑥長畑 誠
(ながはた まこと)
【明治大学専門職大学院
ガバナンス研究科 教授】



1961年東京生まれ、横浜市在住。学生時代から民間の海外協力団体に参加し、その後仲間とともに地域づくりの現場をつなぐNPOを設立。日本とアジア各地の地域を行き来して、地域の暮らしや生業のあり方を考え、学びあう活動を展開中。2011年から現職。大学院では非営利組織研究等を担当。

⑦松浦 治代
(まつうら はるよ)
【鳥取大学医学部 教授】



2011年4月より現職。看護師・保健師教育に携わっています。専門は地域看護学(公衆衛生看護学)で、保健師の専門性、住民主体の地域づくり・行動変容、難病患者の災害支援について研究、活動しています。